

令和7年度 千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

相談事例集

千葉県 環境生活部 温暖化対策推進課

Guidance

「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」では、千葉県内に事業所を持つ事業者様からの“脱炭素”に関するご相談を無料で受け付けています。

この度、令和7年度にいただいたご相談の一部を「事例集」としてまとめました。

県内企業が、続々と脱炭素経営に取り組みはじめています。

何から手を付けたらよい？進め方はどうしたら？など、

「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」へお気軽にご相談ください。

皆さまのご利用をお待ちしています！



Index

	ご相談テーマ	業種	従業員数	エリア
Case.01	サーモグラフィーを使用した工場診断で省エネのアドバイスがほしい！	製造業	51～100名	印旛
Case.02	取引先との関係強化を見据え、脱炭素経営に取り組みたい！	ガス・エネルギー業	31～50名	東葛
Case.03	取引先の動向をふまえた脱炭素対応と経営力強化に取り組みたい！	製造業	51～100名	京葉
Case.04	取引先からの要請をふまえ、さらなる脱炭素化を進めたい！	製造業	101～200名	印旛
Case.05	地球にも人にもやさしい会社づくりのため、脱炭素を推進していきたい！	建設業・卸売業	201～300名	京葉
Case.06	飲めば飲むほど脱炭素が進むビールを顧客に提供したい！	飲食業	1～30名	京葉
Case.07	エネルギー使用量の削減に向けて、専門家の視点からアドバイスがほしい！	製造業	101～200名	印旛

相談事例集 (Case.01)

サーモグラフィーを利用した工場診断で省エネのアドバイスがほしい！

利用者概要

業種	製造業
地域	印旛エリア
従業員数	51～100名
事業内容	高い技術で精密なプラスチック機器の部品を製造しています。



相談員コメント

実際に工場を調査し、省エネできるポイントを具体的にお話しました。
設備更新と運用改善の両方に取り組んでいきましょう。



相談員：稲葉



利用者のお悩み



工場主任

- ✓ 補助金を活用したLED化を考えており、更新によってどれほどCO2排出量が削減できるのか知りたい。
- ✓ 工場内で熱がこもっているので、解消したい。
- ✓ さらなる省エネの取組を行い、エネルギーコストを削減したい。



相談員による提案・アドバイス

1 工場の現状を“知る”

サーモグラフィーで測定し、設備ではなく、窓からの日差しによる熱の影響が大きいことがわかりました。

2 排出量を“測る”

CO2排出量の計算方法を案内し、蛍光灯からLEDに更新した際の排出量を算定しました。

3 排出量を“減らす”

工場をみて、省エネのアイデアを提案。熱については、遮熱・断熱が効果的であり、補助金を活用した更新を提案しました。



今後取り組むこと



工場主任

- ✓ LED化の効果をシミュレーションしてもらい、更新の決心がついた。
- ✓ 従業員から、熱による職場の暑さを改善してほしいと言われていたが、空調の追加以外に思い当たらず困っていた。原因がわかったので、対応できる。
- ✓ 省エネの具体的なアドバイスをもらったので、実行していきたい。

今後の予定

省エネのアイデアを実行し、**エネルギーコスト削減と職場環境改善**を叶える！

相談事例集 (Case.02)

取引先との関係強化を見据え、脱炭素経営に取り組みたい！

利用者概要

業種	ガス・エネルギー業
地域	東葛エリア
従業員数	31～50名
事業内容	地域の利用者へ安定的・安全にエネルギーを供給しています。



相談員コメント

業界や同業他社の動向をふまえ、認証の取得に向けた取組についてご案内しました。取組を継続できる社内体制づくりも大切です。



相談員：稲葉



利用者のお悩み



社長
&
役員

- ✓ エネルギー供給に関わる会社として脱炭素経営に取り組み、取引先へもアピールしていきたい。
- ✓ 環境認証制度の取得も視野に入れたい。
- ✓ 現状、CO2排出量の把握ができていない。
- ✓ 同業他社はどうしているのだろうか？



相談員による提案・アドバイス

- 1 脱炭素経営について“知る”**
脱炭素経営のステップについて案内し、取得できる認証制度や同業他社の取組内容を紹介しました。
- 2 排出量を“測る”**
まずは自社の現状を知るため、燃料や電気の使用量からScope1、2の算定に取り組みました。
- 3 排出量を“減らす”**
事業所の状況を現地調査し、遮熱・断熱、太陽光発電設備導入や電気自動車導入による削減可能性について紹介しました。



今後取り組むこと



社長
&
役員

- ✓ 排出量の計算は、どの資料のどの数値を使えばいいか案内を受け、意外と簡単にできることが分かった。これなら自社で継続できそう。
- ✓ 集めたデータをどのように活用していくか、考えていく必要があると感じた。
- ✓ 同業他社の取組も参考に、今後、どのようにアピールしていくか検討したい。

今後の予定

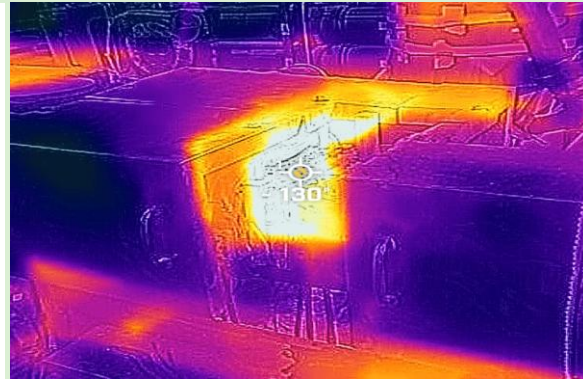
脱炭素経営に取り組む企業として、積極的に取引先へアピールしていく！

相談事例集 (Case.03)

取引先の動向をふまえた脱炭素対応と経営力強化に取り組みたい！

利用者概要

業種 製造業
地域 京葉エリア
従業員数 51～100名
事業内容 プラスチックの加工等を行っています。



相談員コメント

サーモグラフィーで工場内の熱環境を可視化し、対策を提案しました。
経営力強化に向け、脱炭素経営に取り組みましょう。



相談員：大柳



利用者のお悩み



社長付

- ✓ 取引先からサプライチェーン全体での脱炭素対応を求められた。
- ✓ エネルギーコストを削減して収益性も上げたい。製造過程では、電熱ヒーターや押出機を使用する。
- ✓ 工場内の熱環境を可視化して労働環境の改善に繋がりたい。



相談員による提案・アドバイス

- 1 自社の現状について“知る”**
製造費用に占める電気代がそれなりの割合にあり、エネルギー効率の改善が課題です。脱炭素対応のため、CO2排出量を把握する必要があります。
- 2 熱環境を“測る”**
工場内の熱環境を測定すると、製造機械の放射熱や外壁・屋根の蓄熱が原因と特定できました。
- 3 エネルギー使用量を“減らす”**
製造機械の輻射熱の断熱について提案しました。今後、電力などのエネルギー使用量をEMSでモニタリングし、使用実態をふまえて打ち手が検討できると、さらに効果的です。



今後取り組むこと



社長付

- ✓ 現状が確認でき、次のステップはCO2排出量を測ることと理解した。
- ✓ 売上UPに向け、機械は余力があるが、マンパワーが足りない。作業環境を改善して、人手不足の対策をしたい。
- ✓ 取引先が脱炭素経営に舵を切って動き出している。先回りして脱炭素経営を目指したい。

今後の予定

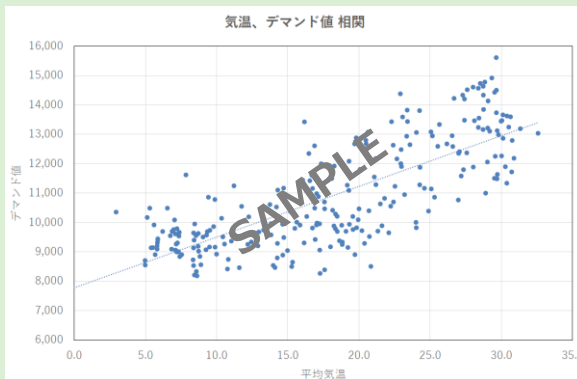
CO2排出量を算定し改善ターゲットを決め、**脱炭素に向けた目標を設定する**

相談事例集 (Case.04)

取引先からの要請をふまえ、さらなる脱炭素化を進めたい！

利用者概要

業種	製造業
地域	印旛エリア
従業員数	101~200名
事業内容	高品質な水産物を顧客要望に合わせて加工しています。



相談員コメント

データを活用して、改善のポイントが見つかりました。設備の利用状況等と併せて見ていくことで、他にも発見がありそうです。



相談員：森



利用者のお悩み



社長

- ✓ 取引先の大手小売店から、脱炭素の取組を求められている。
- ✓ 太陽光パネルの設置やLED化、空調更新など考えられることは実施済みで、これ以上思い浮かばない。
- ✓ 具体的なCO2排出量も把握できていない。



相談員による提案・アドバイス

- 1 自社の現状について“知る”**
30分ごとの電気使用量や外気温が記録されたデータを整理し、グラフ化のうえ分析しました。
- 2 使用量を“測る”**
冬の午前8時からの30分間の電気使用量が最高となる傾向がわかりました。
- 3 使用量を“減らす”**
ピーク電力を抑えるため、朝の設備への電源投入時間を分散することを提案しました。



社長

- ✓ デマンドデータはあったものの、分析や活用ができていなかった。今回、データから使用電力量を分析してもらい、これまでの認識が相違していたことがわかった。
- ✓ 今回の結果を受けて対応を変えることとした。他にも脱炭素の取組を進めていくため、引き続き助言がほしい。

今後の予定

取引先との関係強化とエネルギーコスト削減の両方のメリットを獲得していく！

相談事例集 (Case.05)

地球にも人にもやさしい会社づくりのため、脱炭素を推進していきたい！

利用者概要

業種 建設業・卸売業
地域 京葉エリア
従業員数 201～300名
事業内容 住宅設備機器の
施工・販売を行っています。



相談員コメント

3か年のCO2排出量削減計画を策定いただきました。継続的な取組を進めることで、脱炭素経営を企業の強みとして確立していただければと思います。



相談員：井尾



利用者のお悩み



推進
担当者

- ✓ 脱炭素経営の取組について教えて欲しい。
- ✓ CO2排出量の算定方法について詳しく知りたい。
- ✓ 具体的な数値目標の立て方や、達成の仕方についてアドバイスが欲しい。



相談員による提案・アドバイス

1

脱炭素経営について“知る”

温暖化や日本のエネルギー事情に関する概要を紹介し、脱炭素経営について案内しました。

2

排出量を“測る”

算定基準や排出係数の考え方について説明し、CO2排出量の算定に取り組んでいただきました。

3

排出量を“減らす”

脱炭素スクールにもご参加いただき、CO2排出量の削減計画を策定いただきました。



今後取り組むこと



推進
担当者

- ✓ 脱炭素経営の概要を知ることができた。
- ✓ CO2排出量の算定方法を理解でき、排出量を把握することができた。
- ✓ 脱炭素スクールで策定した排出量削減計画をもとに取組を進めていく。一緒に参加したみなさんの事例も参考になった。

今後の
予定

脱炭素を推進する企業として、**地球にも人にもやさしい会社づくり**を目指す！

相談事例集 (Case.06)

飲めば飲むほど脱炭素が進むビールを顧客に提供したい！

利用者概要

業種 飲食業
地域 京葉エリア
従業員数 1~30人
事業内容 クラフトビール製造および販売、レストラン事業を行っています。



相談員コメント

CO2排出量の算定を行いました。自社の優位性構築のために脱炭素に取り組む企業です。脱炭素に取り組み、製品に付加価値をつけ売上増加を目指しています。



相談員：保田



利用者のお悩み



社長

- ✓ サプライチェーンを含めた脱炭素化を推進する計画を立てたが、思うように進んでいない。
- ✓ カーボンオフセットのために何をすればよいかわからない。
- ✓ Scope3の算出方法がよくわからない。



相談員による提案・アドバイス

- 1 脱炭素の進め方について“知る”**
脱炭素経営のステップについて解説し、Scope3を含めた排出量の算定方法や同業他社の取組内容を紹介しました。
- 2 排出量を“測る”**
まずは自社の現状を知るため、燃料や電気の使用量からScope1、2の算定に取り組みました。
- 3 排出量を“減らす”**
事業所の状況を現地調査し、ビール製造室におけるエネルギー削減可能性について助言しました。



社長

- ✓ 今後は、調査したScope1,2の排出量実績をもとに、削減アイテムを決定し、実行していく。
- ✓ また、主要なScope3排出量を推定し、削減可能性を検討していく。

今後の予定

脱炭素経営に取り組む企業として、積極的に取引先へアピールしていく！

相談事例集 (Case.07)

エネルギー使用量の削減に向けて、専門家の視点からアドバイスがほしい！

利用者概要

業種	製造業
地域	印旛エリア
従業員数	101～200名
事業内容	食品の製造販売を行っています。



相談員コメント

実際に工場内を確認し、まだまだ、省エネの可能性が分りました。今後は、脱炭素経営の視点を意識し、計画的に取り組んでいきましょう。



相談員：稲葉



利用者のお悩み



製造部次長

- ✓ 省エネ診断を実施し、エアコンの更新や照明のLED化等、可能な対策は実施している。
- ✓ 計画的なエネルギー使用量の削減に向けて他にできないか、工場内を確認してアドバイスがほしい。
- ✓ 脱炭素経営についても知りたい。



相談員による提案・アドバイス

- 1 工場の現状について“知る”**
工場内の状況を現地調査し、エネルギーの使用状況を確認しました。
- 2 排出量を“測る”**
脱炭素経営の概要やCO2排出量の算定方法について学び、工場や店舗の排出量を算定しました。
- 3 排出量を“減らす”**
蒸気配管の保温や排熱利用、コンプレッサーの省エネ対策、変圧器の更新等について提案。また、省エネ実施の視点をアドバイスしました。



製造部次長

- ✓ まずは運用改善等の比較的容易に取り組めることから着手し、設備更新については投資を伴うことから、補助金等を活用して計画的に取り組んでいきます。
- ✓ 脱炭素経営の視点を意識し、CO2排出量の把握を継続していきたいと考えています。

今後の予定

エネルギー使用量の削減から、脱炭素経営の取組を進めていく！

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル
(株式会社ちばぎん総合研究所内)

☎ 043-296-3217

✉ chiba-soudan@crinet.co.jp

受付時間：平日 9時～12時、13時～17時
土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

千葉県 脱炭素化 相談



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ontai/hojo/r7datsutanso-center.html>